

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援SmileOn 児童発達支援SmileOn			
○保護者評価実施期間	R6年11月1日 ~ R6年11月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数)	37
○従業者評価実施期間	R6年11月1日 ~ R6年11月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月1日 ~ R6年11月15日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しく通って来てくれていること	一人一人の子どもたちのコンディションや子どもどうしの組み合わせから生まれる雰囲気も考えながら、用意していたプログラムを柔軟に修正しながら「楽しい」と感じて自発的に参加できることを第一にしている。	楽しく自発的に活動すると共に、少し難しいことに挑戦したり、困難な状況を乗り越えるレジリエンスを育てたりするプログラムへとブラッシュアップしたい。
2	保護者の方が支援に満足して下さっていること	保護者と共に子どもたちを育てたいとの思いから、対面でのフィードバックや面談、HUGでの療育内容のお伝えに力をいれてきた。至らないところもあると思うが、指導員の気持ちを汲み取った評価をいただいたと感じている。	「子どもが楽しく通っている」「よく見てくれている」という評価をいただいたと思われるが、今後はよりいっそう具体的な成果に対して満足して頂けるように心がけたい。客観的なアセスメントや園生活の充実など、総合的な満足度が高まるよう支援の幅を広げたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など保護者が交流できる場を十分に設けられなかつたこと	報酬改定に伴う療育枠組みの変更や職員の移動等、上半期は変化が非常に大きかった。療育を第一に考え、父母会などの行事が十分に実施できなかった。	安定的に療育を提供できる体制を整ってきたため、年間行事スケジュールを立て、ご要望の多い行事から優先的に計画する予定である。
2	通信などの情報発信が十分に出来なかつたこと	上記同様に、上半期の多忙化によって優先順位が下がってしまった。園送迎の方は特にコミュニケーションの機会も少ないため、療育の様子や事業所の休業日の連絡などが十分にできない状態となってしまった。	来年度は、HUGでの発信を増やし、通信もHUGにて発行できればと計画している。写真等の提供方法については個人情報保護の観点から苦心しているが、現在より良い方法を検討中である。
3	保護者との直接的なコミュニケーションの機会が減っていること	送迎車利用の方が増え、毎週直接お話するという対面コミュニケーションできる保護者の方が減ってしまった。HUGやお電話等で補っているが、正直なお気持ちや悩み事などを細やかに伺うことが出来なかつた。	お迎えに来られる時に少し早めに来ていただいてお話をする等、短い時間であっても対面でのコミュニケーションを大切にしようと考えている。また、土曜日に面談できる保護者が多いため、意識して声をかけ少しでも多く保護者様の声を聴いて応えていきたい。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		児童発達支援SmileOn						
		公表日 2024年11月1日						
		利用児童数 51 人		回収数 35				
環境・体制整備	1	チェック項目 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		はい 31	どちらともいえない 4	いいえ 1	わからない 1	ご意見 ・ボール遊びが好きで、付き合ってくださりありがとうございますが、エアコン等が心配です。 ・どうしようもないことは思いますが、もう少し広ければなと思うことはあります。 ・広く、スペースは十分だと思います。 ・大きなブロック遊具も用いて粗大運動もたくさんできる十分なスペースだと思います。 ・しっかり確保されている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		はい 31	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 4	ご意見 ・子供達一人一人に目を向けられていると思います。 ・全体指導の先生の他に個別に対応する先生を適宜配慮してくださっています。 ・適切である。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		はい 30	どちらともいえない 4	いいえ 0	わからない 4	ご意見 適切である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		はい 36	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1	ご意見 ・トイレが汚いなどいつも思う。 ・トイレ等も含めて大変清潔に保たれていて、子供達も安心だと思います。 ・良い環境である。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		はい 35	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 0	ご意見 ・子供のことをとてもよく理解されていて、子供の性格や特性に合った対応をされていると思います。 ・気持ちの切り替え方に言及があり、家庭でも参考になっています。 ・支援を良くされている。 ・お世話になり始め半年経ちましたが、いつも丁寧に当日の活動の様子を伝えてくださり、子供の特性やその日の状況に合わせてとても良く支援してくださり本当にありがとうございます。支援計画等もゆっくり丁寧に話を聞いてくださり、安心して子供をお願いすることができています。（項目5～9にて回答）
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		はい 37	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 1	ご意見 内容と合っている。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		はい 36	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 0	ご意見 良く作成されている。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		はい 34	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1	ご意見 具体的な支援内容である。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		はい 34	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 1	ご意見 行われている。

	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	4	0	2	工夫されている。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	5	3	8	・質問の意図を把握することができませんでした。 ・行われている。	曜日によっては、近隣の幼稚園園庭や児童館に出かけ、色々な子に接する機会がありました。公園に出かけた際には、近隣の子ども達とのやりとりも生まれています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0	良く説明されている。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37	0	0	0	良く説明されている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	3	0	10	行われている。	今年度は主に面談や参観の機会にご家族の支援を行ってまいりました。また少數ではありますが、親子療育も実施させていただいております。今後も、ご希望の方には積極的に機会をご用意し、ご家庭でのお子様への関わり方の参考になればと考えております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	36	1	0	0	共有できている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1	0	0	・行われている。 ・定期的に面談があり、情報を共有できていると思います。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36	0	0	0	・とてもそう思います。 ・良く支援されている。	
保護者への説明等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	9	0	17	・こちらがなかなか参加できず、何とも言えない。 ・口頭でのお知らせと合わせてチラシ等を配布してほしいです。 ・そういう機会があることを知りませんでした。 ・きょうだいのことは気になることがあります。イベント開催があればぜひ参加したいです。 ・日程や他姉弟の予定が合わずなかなか参加できていないが、次回は是非参加したいと思っています。 ・説明会などはありますが、週1日違う中では、イベント参加や家族支援というのではなくと思います。 ・きょうだいがスマイルオレンでどんな活動をしているか気になっているようなので、参加できるようなイベントがあると嬉しいです。 ・支援されている。	今年度は、昨年度まで実施していた参観週間やお楽しみ会の実施が出来なかつたため、保護者様同士の交流の機会が少なくなってしまいました。 イベントとして、就学説明会を2日程の他、学校法人子どもの森の施設「MINNADE」にて未就園児を対象とした親子の遊びプログラムや講演会（きょうだいのいる子育て）、「気になる育ち相談」等を実施しました。また、年度末には卒業児の家族を中心とする「あゆみ会」の座談会を開催し、保護者様同士の交流の機会としたいと考えております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	1	0	1	・迅速な対応、いつもありがとうございます。 ・適切に対応されている。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	0	・どんな些細なことも相談がしやすく、ありがとうございます。 ・配慮されている。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	4	0	8	発信されている。	今年度は「SmileOn通信」の発行が出来ていません。来年度は紙媒体ではなく、HUGを使って発信する方法を検討中です。HUG導入から3年になりますが、「加算」に対する電子署名の仕方が分からぬとの問い合わせを多くいただきました。使い勝手の改善についてはHUG窓口を通じて申し入れており、今後より気軽に情報の送受信が出来るようになることを期待しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	0	1	そう思う。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	2	0	7	・そう思う。 ・マニュアルは確認しました。訓練は未参加かもしれません。	マニュアルについては、玄関の棚の下段に設置しております。ご存知でない保護者様多くいらっしゃるとの結果を受け、分かりやすいよう掲示を致しました。避難訓練は各療育グループごとに実施しているところです（年1回ずつ）。実施いたしました際には、HUGIにてお知らせしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	1	0	14	行われていると思う。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	0	0	4	行われている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	1	0	3	説明されている。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	・ありのままで、楽しく通うことができてあります。 ・いつも褒めてもらえるのが嬉しいようです。 ・適所している（安心して）。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	0	0	0	・いつも楽しみにしています。ありがとうございます。 ・とても楽しみにしております。現在の週一から更に通所を希望しております。 ・翌日の予定でスマイルオンとわかると手をあげながら大喜びしている程です。 ・毎週楽しみにしています。ありがとうございます。 ・今日は何の日？の本人の問いに「スマイルオンだよ」と伝えると「やったー」と喜んでくれています。 ・楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	0	0	0	・大変満足しております。幼稚園やお家以外にも子供のことを理解してくれる人がいる居場所があり、自身も救われております。 ・大変満足です。引き続きよろしくお願いいいたします。 ・親子共に先生方に支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。 ・人との関りを楽しく行うことができるようになった。できることも増えて楽し�過ごせっていて感謝しています。 ・満足している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	3	適切な人員配置を行っております。マンツーマンでの療育や送迎車両を2台運行する等の体制を取っている日は「猫の手も借りたい」と思いますが、協力し合って業務にあたっています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2	限られたスペースを放ディと共にお互い譲り合って使用しています。個室の使用希望が重なってしまうこともあります、利用者様にご不便をおかけすることもありますが、極力構造化し、子どもたちにとって安心して過ごせる場所となるように心がけています。事業所が2階にあり、エレベーターが使用できない状況のため、ベビーカーを運ぶお手伝い等で対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	1	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	2	非常勤職員の勤務時間帯によっては、十分な振り返り時間が取れないことがあります、記録の回覧や次回の出勤時の共有で補っています。 来年度は休憩時間を同時に取れるようにする等の工夫により、職員同士の情報共有や対話が生まれやすい環境を心がけて行きます。 (6・8・20・21・22)
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		
児童 発達 支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	個別支援計画書はHUGシステム上でいつでも確認できる状態になっており、療育プログラムの立案に反映されています。また、保護者様と面談を実施した記録も必ず回覧しています。

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		11	1	利用開始時にはType-Tと感覚プロファイルを必須とし、必要に応じて追加で検査を行っています。発達検査や言語検査、運動面の検査等は利用者様のご希望に応じて、あるいは支援者側からの提案によって実施しています。他事業所や医療機関で検査を受けた際には、多くの場合、結果情報を提供していただき、療育に活かしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		12			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		12			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		10	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		8	3		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		10	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		12			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。		11			
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		11			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		11			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		11			
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6	4	今年度より稻城市の発達センターが開所されたため、SV体制はまだ整備されていませんが、情報共有等は随時行っております。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	幼稚園園庭や近隣の公園で、事業所以外の子どもと触れ合う機会があります。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11			こうした機会を増やしてほしいと多くの声が寄せられていますので、今後の課題としたいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	2	就学説明会や講演会、親子の遊び講座等のイベントを開催し、保護者同士の交流の機会としています。	こうした機会を増やしてほしいと多くの声が寄せられていますので、今後の課題としたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	4	昨年度まで発行していた通信を、今年度は作成できませんでした。	今後はHUGシステムを使った情報の発信を検討しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9		地域に開かれた事業所となることは、今後の課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	3	アレルギーについては保護者様からの聞き取りに基づいて対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1	非常時の安全計画についてはマニュアルを作成し、緊急時の連絡訓練や避難訓練を実施しています。	昨今の災害状況を鑑み、さらに充実した準備を行っていきたいと考えています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2	身体拘束の規定については契約時に保護者様にご説明しています。現在、該当児がないため、個別支援計画書への記載はしていません。	
--	----	--	---	---	---	--